

請 願 番 号	請 願 第 62 号	受 理 年 月 日	平 成 26 年 11 月 18 日
請 願 の 件 名	<p>「農協改革」に関する請願</p> <p>【請願の趣旨】</p> <p>J Aグループ宮崎は、農家組合員の所得向上、農業の振興、地域社会の活性化に、行政と連携しながら取り組むとともに、協同組合として、農家組合員、地域住民の助け合い活動などにも取り組んでいます。</p> <p>また、第21回及び第22回のJ A宮崎県大会において「所得アップGO!GO!テン運動」を決議し、J Aの使命は農家所得向上であると、組合員・役職員一体となって実践しているところがあります。</p> <p>政府は、「農林水産業・地域の活力創造プラン」を農業の成長産業化、農業所得の向上を目指すために決定し、その実現のために、「農協改革」を推進することとし、自己改革を強く要請しています。</p> <p>農協改革は、自己改革が基本であるとともに、地域の実情、現場の声を踏まえ、今までのJ Aグループの取り組みの正当な評価に基づくべきであると考えます。</p> <p>つきましては、農協改革について、下記事項を政府・与党に対して働きかけて頂きますよう要請します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農協改革については、農家・組合員の所得向上に向けたJ Aグループの自己改革を尊重すること。 2. 中央会制度は、組合員・J Aの意思結集と行政との連携による農政を推進する代表機能、J A経営の健全性を確保する機能等を発揮するために、農協法に位置付けた制度とすること。 3. 今後進展する高齢化、過疎化の中で、地域社会において果たしているJ Aの役割を継続できるよう措置すること。 		
紹 介 議 員	<p>中野 一則 横田 照夫 新見 昌安 鳥飼 謙二 西村 賢 前屋敷 恵美</p>		
摘 要			